※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	ＭＩＤＩ応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・パソコンを楽器として使って音楽表現をする授業です。
・主に、授業内で作成した音楽データで評価を行います。その他、振り返りシートや鑑賞レポートなども評価材料とします。
・実技教科のため、日々の取り組み姿勢が大きく反映されます。休まず積極的に、また内容の理解を念頭に置いて授業に参加してください。
・時間をかけて楽器を練習するように、音楽データに時間をかけて細かく手を加えることにより、よりよい作品が生まれます。毎時間しっかり取り組んで、素敵な作品を作ってください。

2　学習の到達目標

・基本的な音楽の知識を身につけ、それをもとにコンピュータを使って音楽を制作する技能を習得するとともに、情報発信ツールとしての音楽の役割についても理解し、音楽の発信者としての経験を将来に生かす。
・前期は基本的な楽典の知識の習得とともに、ソフトの様々な機能を身につけることに重点を置く。後期はそれをもとに本格的な自由曲の入力や編集を行い、完成した作品をお互いに鑑賞・評価する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・シーケンスソフトへの楽譜の入力方法と表現上の効果について理解している。 ・音色や強弱など、創意工夫を生かした表現方法を身につけている。 ・音楽表現に必要な基礎理論を理解し、入力できる技能を身につけている。	・楽譜に表示されている様々な音楽理論を正しく表現することに加え、独自の創意工夫をしようとしている。 ・自分の作成した音を正確に聞き取り、各パートが調和するよう工夫しながら表現している。	・主体的に表現および他者の作品の鑑賞の活動に取り組もうとしている。 ・毎時の授業への取り組み等の自己評価を正確に行い、次回に反映させている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	簡単な曲の入力	ソフトの起動方法、入力方法などを、実際に楽譜を入力することにより習得する。	a:音符や休符についての基本的な楽典知識を理解し、入力することができる。 b:適切な音色を選択し、曲のイメージを表現している。 c:自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	課題作品	課題作品	授業ノート 振り返りシート
	曲に表情をつける	メロディーが入力された曲に、テンポや強弱の変化を加えたり、別のパートやリズムを加えて編曲したりする。	a:テンポの変更、強弱のつけ方などの表情の入力方法を理解している。 b:習得した技術を用いて、曲の表情を個性豊かに変化させ、表現している。 c:自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	課題作品	課題作品	授業ノート 振り返りシート
前期期末	曲に伴奏をつける	楽曲に指定されたコードやベースをつける練習を行う。	a:コードやベースに関する基本的な知識を理解し、その入力方法を理解している。 b:習得した技術を用いて、曲の表情を個性豊かに変化させ、表現している。 c:楽曲に対する自分の感情や考えを言葉にまとめている。	課題作品	課題作品	授業ノート 振り返りシート
	まとめ作品制作	これまで学んだ知識の応用例としての課題曲を入力し、それを編曲して作品として仕上げる。	a:音符や表情の入力方法を理解している。 b:習得した技術を用いて曲に表情をつけ、個性豊かに表現している。 c: 自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	課題作品	課題作品	授業ノート 振り返りシート
後期中間	自由作品制作	これまで学んだ知識をすべて用いて、各自で選んだ楽曲を入力・編曲・編集し、作品として仕上げる。	a:音符や表情の入力方法を理解している。 b:習得した技術を用いて曲に表情をつけ、個性豊かに表現している。 c: 自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	課題作品	課題作品	制作ﾚﾎﾟｰﾄ 振返シート

※令和４年度以降入学生用

	自由作品鑑賞会	自由作品を完成し、それぞれが仕上げた自由作品を発表し、お互いに鑑賞する。	a:自分及び他者の作品に施された表現上の効果について理解している。 b:自分の作品について、表情を調整し、個性豊かに表現している。また、他者の作品についての感想を的確に表現できている。 c: 自分及び他者の演奏・表現について正確にアセスメントしている。	課題作品 制作レポート	課題作品 鑑賞レポート	制作レポート 鑑賞レポート 振返シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度